

# 大阪狭山市立の小・中学校が変わります！！



令和6年（2024年）4月

## ○何が変わるの？

【制度・仕組みが変わります】



### 1. 「グローバル人材の育成」に向けた取組みを進めます。

グローバル【グローバル+ローカル】な視点を持った「未来に輝く人づくり」のため、英語教育や地域についての学びを充実していきます。

そのため、大学や民間企業の知見やノウハウを教育活動に活かし、一人ひとりの状況を丁寧に把握し、学びにつなげます。



### 2. 全ての小学校が「コミュニティ・スクール」になります。

学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる制度を取り入れます。

（中学校は令和7年度～を予定）

地域とともにある学校づくりを進めます！



### 3. 全ての小中学校が文部科学省から指定を受けた「教育課程特例校」になります。

生活科や総合的な学習の時間を使って、小学校1年生～中学校3年生までの9年間、それぞれ年間10時間程度を使って「大阪狭山市」について考え、学ぶ「地域学習」がスタートします。

## ○どんなふうにするの？

【産官学が連携して子どもの学びと育ちを支えます】



### 1. 「YOSS クラウドサービス」の活用

教職員がすべての子どもたちの潜在的なSOSを早期にキャッチし、適切な支援につなげていくための

システムを活用します。（大阪公立大学・パナソニックコネクト）



### 2. 「まるぐランド（小学校2・3年）」の導入

タブレット端末を使って、学びの基礎となる「読み・書き」や認知面のスキルをアップし、学ぶ意欲や自己肯定感を高めます。（ベネッセ）



### 3. 「BASE in OSAKA」・「GTEC」の導入

グローバル化が進む中、コミュニケーションツールである「英語」の力を着実につけるため、大阪府教育庁と民間企業が開発した教育アプリを小学校5年以上で活用、また英語の4技能（5領域）の定着状況を中学校2・3年生で把握、指導に



#### 4. デジタル教科書の活用（英語）

「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る」視点からの授業改善や、特別な配慮を必要とする子どもの学習上の困難を減らします。  
(調査研究のため、一部の学校には算数、数学も配付)



### ○先生は忙しそうだけど・・・？

【先生が子どもに関わる時間を増やします】



#### 1. 「CoDMON（コドモン）」の導入

保護者の皆さまや教職員の利便性を高めるため、欠席や遅刻等の連絡や学校からの情報などをスムーズにやりとりするための「保護者用アプリ」を導入します。  
(放課後児童会や公立幼稚園等でも使えます。: コドモン)



#### 2. 中学校部活動の「地域移行」に向けた実証事業

部活動の一部を民間企業に委託し、専門性の高い指導者による指導を行うことで、子どもたちの技術の向上と教員の授業の準備等、子どもに関わるための時間を確保します。  
(リーフラス)



#### 3. 全校一斉退庁日及び夏季休業中における学校閉庁日

毎週水曜日を一斉退庁日、8月10日から16日の期間に、平日3日間（その間の土日を含む）を学校閉庁日とし、教職員が元気に子どもたちと向き合う時間を確保します。

※令和6年度は8月10日（土）～15日（木）の6日間



#### 4. スクールロイヤールの導入

学校で起こるトラブルやいじめ、保護者対応等について、法的に解決する助言を弁護士に求めます。(大阪弁護士会)



「給食費の段階的無償化」や「体育館へのエアコン設置」など、子どもたちの健やかな「学びと育ち」に向け、様々な取組みを計画的に進めます。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

#### 【問い合わせ】

大阪狭山市教育委員会事務局 教育部教育指導グループ

TEL 072(366)0011

